

旅行取扱状況の概観 (令和3年7月分)

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウエブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取扱いは、一般団体は前々年比 1.7%、学生団体は同 0.4%と前々年を下回り、団体旅行合計では同 1.3%と前々年を下回った。企画旅行については実績がなく、個人旅行については同 3.1%と前々年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前々年比 1.2%と前々年を下回った。

国内旅行の取扱いは、一般団体は前々年比 20.4%、学生団体は同 73.1%と前々年を下回り、団体旅行合計では同 44.6%と前々年を下回った。企画旅行については前々年比 12.6%と前々年を下回り、個人旅行については同 21.8%となった。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前々年比 21.8%と前々年を下回った。

外国人旅行については、前々年比 17.4%と前々年を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の7月の総取扱額は前々年比 25.2%となった。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は国際的な新型コロナウイルス感染者拡大による旅行の中止や延期の影響が続き前々年比 1.7%となった。学生団体は旅行の中止や延期の影響を受け同 0.4%となった。この結果、海外団体旅行合計では前々年比 1.3%と前々年を下回った。

海外企画旅行については、催行中止の状態が続きほぼ実績がなく、前々年比 0.0%となった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前々年比 1.2%と前々年を下回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行については、外国人の入国制限措置などの影響を受け、前々年比 17.4%と前々年を下回った。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は大人数での移動を避ける傾向は続き前々年比 20.4%となった。学生団体は一部の地域において延期されていた旅行が実施された一方緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出による旅行計画の変更により同 73.1%となった。この結果、国内団体旅行合計では前々年比 44.6%と前々年を下回った。

国内企画旅行については、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出により旅行を控える傾向が続き前々年比 12.6%と前々年を下回った。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前々年比 21.8%となった。

以上

※前年実績においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け比較対象としては異常値となることから前々年実績との比較にて表記。